

# 東海局内で初めて、コミュニティ放送局と連携した親子電波教室を開催

東海総合通信局(局長 長塩 義樹)では、電波の適正な利用に関する周知・啓発活動として、電波の仕組みや身近な電波の利用について関心をもってもらふことや電波の正しいルールについて学んでもらふことを目的として、民間ボランティアによる親子電波教室を開催しています。

今回は、令和3年2月23日(祝)、三重県鈴鹿市において、三重県電波適正利用推進員協議会と地元のコミュニティ放送局である鈴鹿ヴォイスエフエムの共催により親子電波教室を開催し、小学校4年生から6年生までの15組が参加され、おもしろ電波教室のDVD視聴や三択クイズ、FMラジオの製作を行いました。

東海局として初めて企画したコミュニティ放送局と連携した親子電波教室は、鈴鹿ヴォイスエフエムのご協力により、参加した子供たちにFMラジオを製作した感想を取材していただき、収録した音声を子供たちに向けて放送することにより、自分のインタビューの音声が入ったFMラジオから流れてくることを体験することで、電波をより身近に感じてもらうことを目的として開催しました。また、FMラジオの製作後には、鈴鹿ヴォイスエフエムの放送スタジオ施設を見学することもできました。

親子電波教室は、電波の基本的な仕組みについてビデオを視聴し理解することから始まりました。視聴後の三択クイズでは、「電波のスピードはどのくらい?」「技適マークはどれですか?」などのクイズ問題について子供たちに答えてもらいました。

ラジオの製作では、半田ごてを使用するための注意事項(高温)をしっかり学んでから、推進員の皆さんのサポートにより、プリント基板にコンデンサや抵抗を半田付けにより取り付けました。作業開始から1時間程度でラジオのスピーカーから音が聞こえだし、チューニングをすることで、はっきりとした音声で放送を聞くことができました。

自分が組み立てたラジオから音声の流れると「とっても感動した」「半田付けが難しかったけど楽しかった」との感想を聞くことができましたので、推進員の皆さんにとってもやりがいのある活動になっていました。

最後に子供たち全員に親子電波教室の修了証を手渡し、完成したラジオを持って記念撮影を行いました。



おもしろ電波教室のビデオ視聴



FMラジオの製作



鈴鹿ヴォイスエフエムのインタビュー



親子電波教室の修了後の記念写真